

**コメント**

**1.腸管出血性大腸菌感染症**

第40週は2件報告され、今年の累計は35件となっています。6月以降多発しており 9月以降9件報告されています。今年は4歳以下の割合が43% (15件)と、例年と比べると高くなっています。(2000年～2007年の平均は24%)

**2.手足口病**

定点当り0.88人と急増しています。安芸区3.0人となっています。

**3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

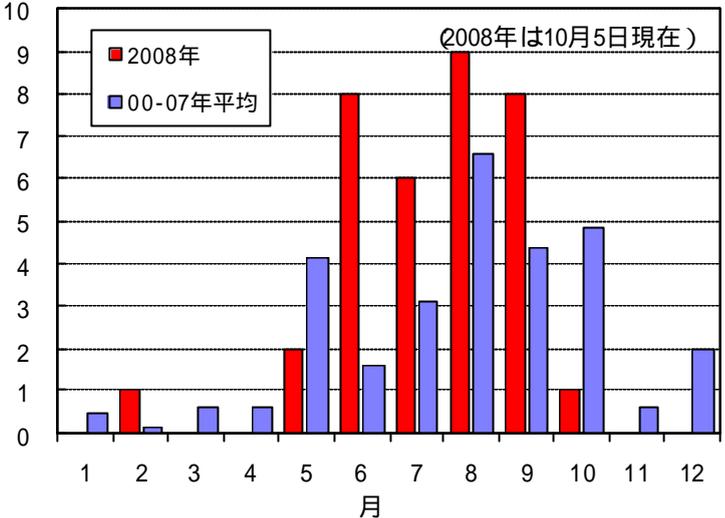
定点当り1.21人とほぼ横ばいとなっています。佐伯区3.3人、中区3.0人となっています。

**4.百日咳**

4人(定点当り0.17人)報告されています(9歳1人、20歳以上3人)

(件/月)

**腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数**



**5類感染症報告状況 (定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	-	-	-		ヘルパンギーナ	2	0.08	0.23	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.12		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.69	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	0.77	→	RSウイルス感染症	3	0.13	0.05	
感染性胃腸炎	79	3.29	5.29	→	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	6	0.25	0.53	↓	流行性角結膜炎	7	0.88	1.48	
手足口病	21	0.88	0.23	↑	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	1	0.04	0.20		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	14	0.58	0.93		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.52	
百日咳	4	0.17	0.04		クラミジア肺炎 (注3)	-	-	-	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1.2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1.15～2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1.1～1.15の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は4年間) の同時期平均 (定点当り)  
 (注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く  
 (注3) オウム病を除く

**1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)**

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	156	女性 (20歳代)・1人、女性 (30歳代)・1人、男性 (60歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	35	男性 (10歳未満)・O157、女性 (10歳未満)・O157

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

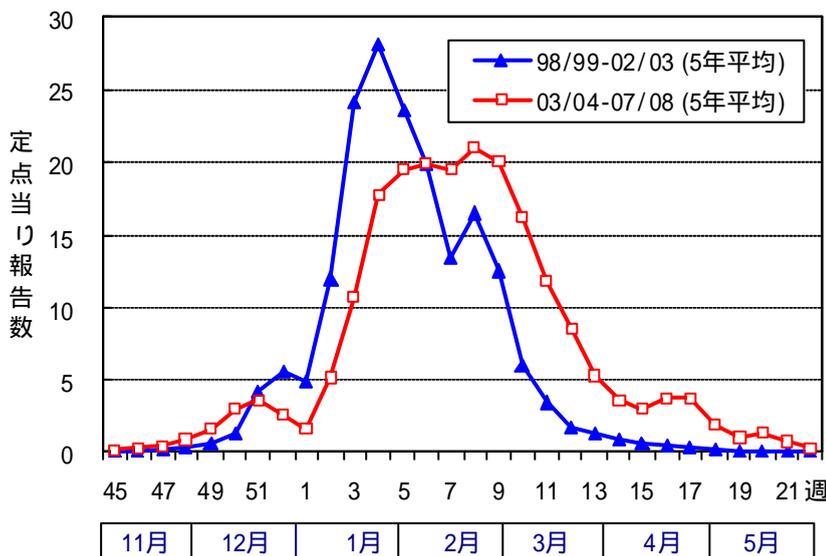
報告数	広島市	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(注2)	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第36週	-	4	23	94	22	26	5	34	2	17	2	3	-	4	-	2	1	-	-
		第37週	-	6	28	94	21	19	4	23	3	12	3	6	-	8	-	-	1	-	-
		第38週	-	3	18	67	17	8	5	23	4	6	2	2	-	-	-	-	3	-	-
		第39週	-	3	28	77	37	8	1	22	4	6	2	3	-	3	-	-	1	-	-
定点当り	広島市	第36週	-	0.17	0.96	3.92	0.92	1.08	0.21	1.42	0.08	0.71	0.08	0.13	-	0.50	-	0.29	0.14	-	-
		第37週	-	0.25	1.17	3.92	0.88	0.79	0.17	0.96	0.13	0.50	0.13	0.25	-	1.00	-	-	0.14	-	-
		第38週	-	0.13	0.75	2.79	0.71	0.33	0.21	0.96	0.17	0.25	0.08	0.08	-	-	-	-	0.43	-	-
		第39週	-	0.13	1.17	3.21	1.54	0.33	0.04	0.92	0.17	0.25	0.08	0.13	-	0.38	-	-	0.14	-	-
全国	第38週	0.01	0.31	0.81	2.74	0.41	1.29	0.05	0.75	0.04	0.66	0.40	0.31	0.02	0.68	0.01	0.04	0.37	0.03	-	-
	第39週	0.01	0.26	0.88	2.70	0.48	1.26	0.04	0.71	0.03	0.54	0.41	0.39	0.02	0.66	0.01	0.04	0.28	0.01	-	-

(注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く (注2)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	3	男	2008/06/07	咽頭拭い液	パラインフルエンザ3型
細菌性髄膜炎	8	男	2008/06/21	髄液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	9	女	2008/08/30	糞便	エコーウイルス30型
ウイルス感染症	0	女	2008/08/29	糞便	パレコウイルス3型
腸重積症	3	男	2008/08/08	糞便	アデノウイルス3型
腸重積	3	女	2008/08/12	糞便	コクサッキーウイルスA16型
不明熱	0	男	2008/08/27	糞便 鼻汁(拭い液)	パレコウイルス3型
不明熱	0	女	2008/08/27	糞便	エコーウイルス30型

## 【参考】広島市における過去10シーズンのインフルエンザの発生動向



グラフは過去10シーズンのインフルエンザの流行の推移について、前期(1998/99~2002/03シーズンの5年)と後期(2003/04~2007/08シーズンの5年)を比較したものです。

流行開始時期は、ほぼ同じ時期ですが、ピークは、後期がやや遅くなっています。

終息時期も、前期が3月でほぼ終息しているのに対して、後期は流行が4月から5月まで長引く傾向がみられます。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.jp)

2008年第40週 (9月29日~10月5日)